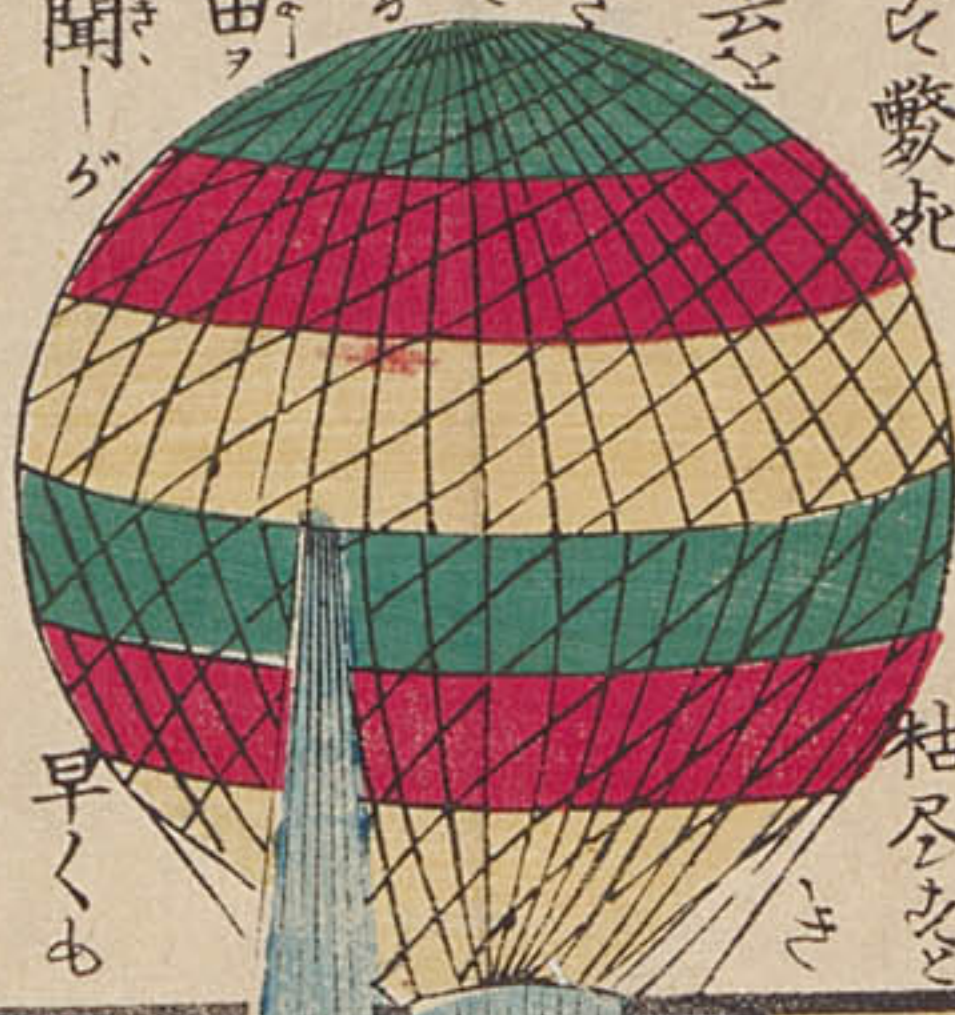


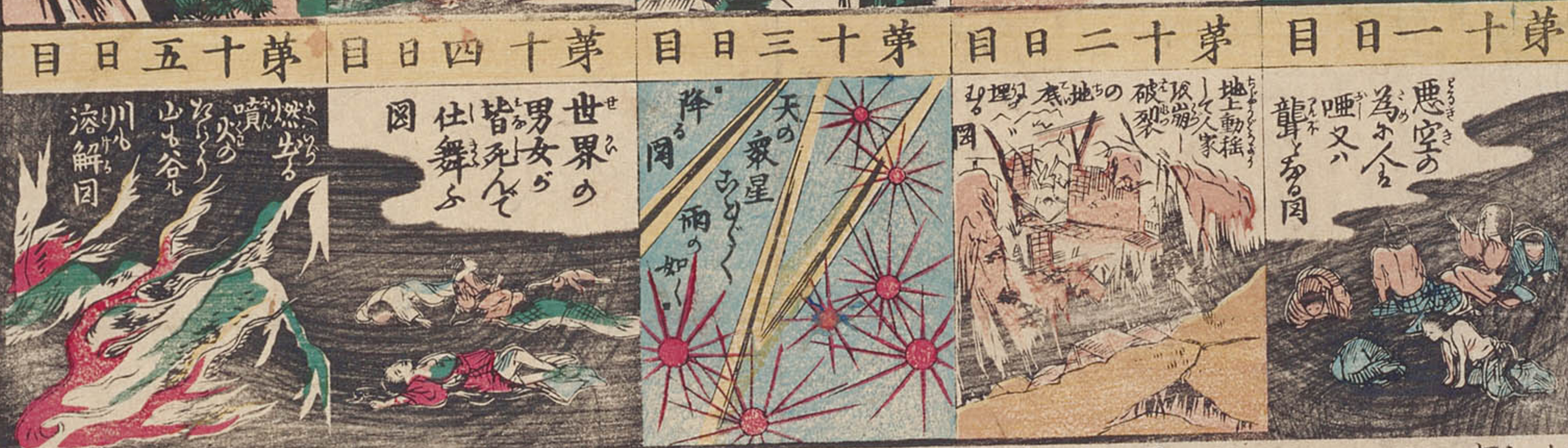
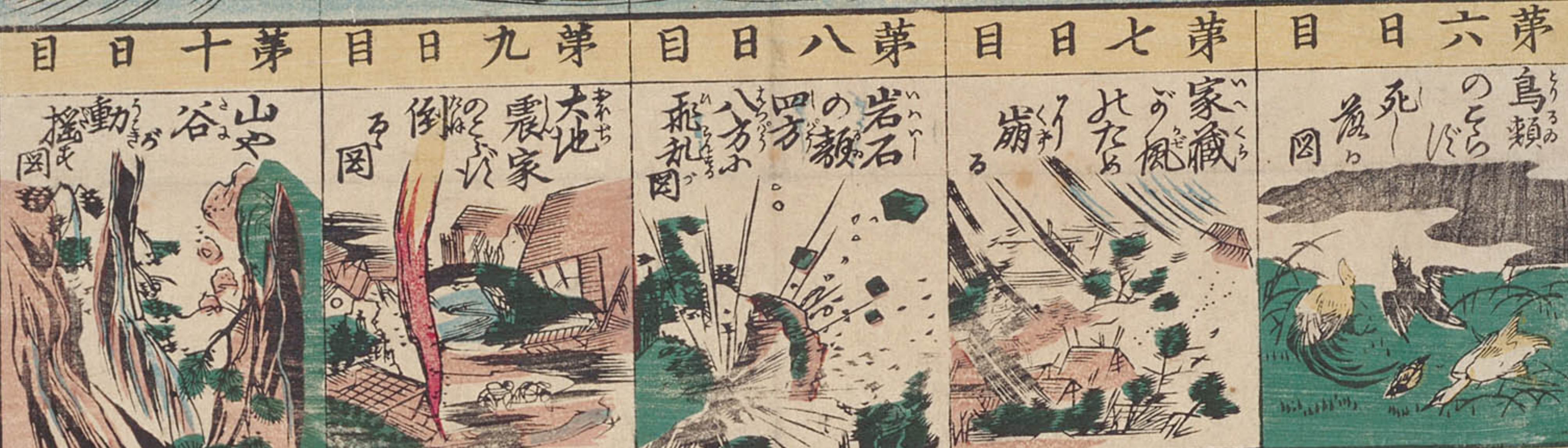
世界轉覆奇談

御届明治十四年九月廿一日

聞説く今より四百年の
 某の推測せし紀元千
 八百八十年十一月十五日即
 ち我々明治十四年十月十五
 日より日数十五日の内は天地
 潰れ山岳破裂して大火山は
 現出し河川溢れて洪水となり
 地上は人間禽獸草木等残り
 ざるに盡せり



英國人ハバリンコネギリと云ふ今
 三歳ハ一奇人なり固く世界轉
 覆の浮説と妄信一千辛万苦
 て天候を測りて天候急變を
 造る能く轉覆せむと日之に乗
 り高く宙より其害を避けんと
 企てんと計りて誠不可思議の
 考と云ふ可し今下ニ圖とを
 其日の景況なり



上ノ圖を見る処に其日の景況也
 想像せしものや之を往昔ノ
 大洪水なり又
 世ノ天柱折る
 地獄の破綻
 虫の國の信
 足らざる説あり且
 コンタネリの如き
 世界の消滅と恐
 る此ノ空中より
 とも如何せん空
 井通ふ如く引
 引カ
 通る
 震動する自然の理にて奇
 苦心焦慮も畫餅に属せんと
 ざるは恐ろかり以上
 傳聞此より記せるもの
 して取りて是らざる
 妄説あり此妄説と誤るこ
 となく安全に其危
 ちるるをせんといふ願
 也

編輯 芝田宮本一 平野傳吉
 出版